



「有漢町納涼ふるさと祭」の様子

こんにちは、有漢地域担当の西垣です。京都出身ということで、京都と高梁の冬の比較をよく尋ねられますが、高梁の冬の方が厳しい印象です。積雪量が全然違うことと、生活や仕事に自然に近いため寒さを実感しやすいのかなと思います。さて、今年が高梁市の各地で祭りやイベントがコロナ禍でも乗り越え戻ってきました。有漢町でも大小多くのイベントが行われ、特に大きな「有漢町納涼ふるさと祭」が開催されました。どちらも私が移住してきて初めての開催でしたが、イベントの企画運営に深く関わらせて



西垣 陽平 隊員

いただきました。納涼祭では有漢の盆踊り「長蔵音頭」の音頭取りを担当し、風ぐるまフェスタではイベントのステージ司会を担当させていただきました。地域のイベントは、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々が集まり、楽しみを共有する貴重な機会として、継続していくことが大切だと思います。しかし今回、高齢化や担い手の減少による運営側の負担の増大も強く感じました。コロナ禍を挟んでの再開を機にイベントの体制や企画面を見直しましたが、現状のままではあと何回開催できるの不安視する意見が各地で出ていることが想像されます。引き継ぐべきもの、変えていくべきもの、イベントの意義をしっかりと話し合っ共有しないと今後ますます継続は厳しくなると感じると同時に、これまでも数十年祭りを引き継がれてきた方々に頭が下がる思いでした。

## 成羽公民館

公民館へ行こう！

成羽と言ったら1番に思いつくのが、備中神楽だと思います。公民館では、國橋まつり大神楽の運営や備中神楽の保存伝承団体の技術向上を目指した備中神楽成羽保存会、備中神楽の後継者を育成するための成羽備中神楽振興会の活動など、備中神楽に関する事業の事務局をさせていただいています。11月に行われた子供神楽競演大会では、市内の各方面から5団体の参加があり、子どもとは思えないほどの迫力ある舞を披露してくれました。



まつた けんじ 館長



▲子供神楽競演大会の様子

また、成羽地域に伝わる踊りを後世に継承するため、毎月第1日曜日に成羽音頭と成羽小唄の踊りの講習会を実施しています。感染症防止のため披露する機会がありませんでしたが、昨年からは成羽町民スポーツ祭で披露させていただいています。



▲町民スポーツ祭の様子

成羽公民館 ☎ 42-2525

## 市長室からこんにちは

市では、市出身で活躍されている方にいろいろと意見をお伺いし、次の施策に生かしていくことを目的とした、市政アドバイザー制度を持っています。毎年1回、アドバイザーの皆さんに集まっていたいただき、意見交換をしており、今年は先月9日に東京都内で開催しました。今回出席いただいたアドバイザーの方は、前みずほフィナンシャルグループ名誉顧問の橋本徹さん、ANAホールディングス株式会社相談役の大橋洋治さん、日本オリピック委員会名誉委員の赤木恭平

さん、元北海道旅客鉄道株式会社代表取締役会長の小池明夫さん、元文部科学事務次官の小野元之さん、そして、10月から皇居三の丸尚蔵館の館長に就任された島谷弘幸さんら9名の方です。島谷さんは書の造詣が深い方で、東京国立博物館や九州国立博物館の館長も歴任されてきました。会議では、高校の将来や少子化に対する婚姻の問題など多岐にわたる発言をいただき、これからの市政運営に非常に参考となるところがありました。次の会議が楽しみです。

近藤隆則